

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和4年度
計画の実施に向けた推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

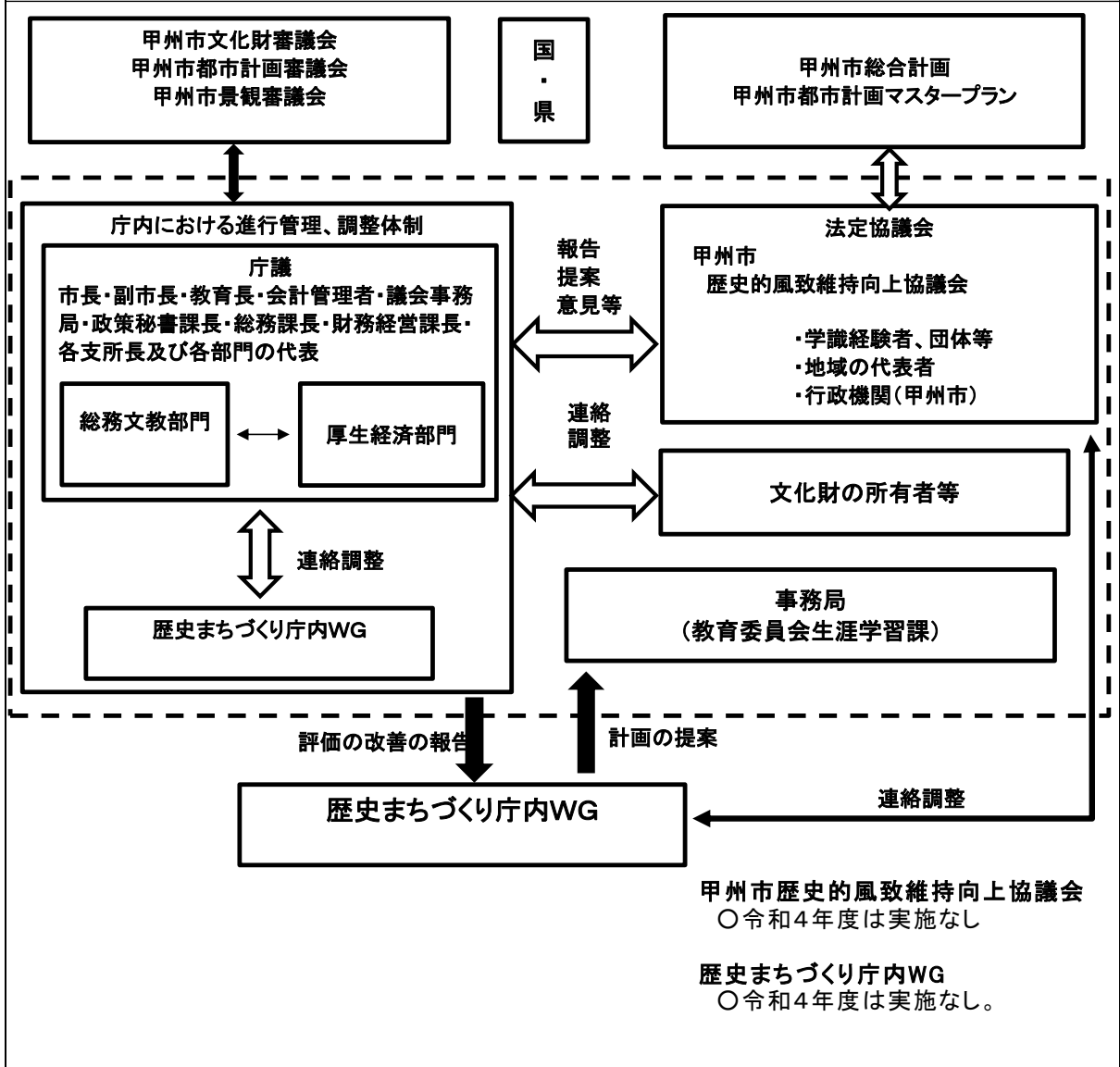
計画に記載している内容
 本計画の推進、実施にあたっては、甲州市教育委員会生涯学習課に事務局を置き、庁内関係各課で連携を取りながら連絡調整を行い、国や県の関係機関と協議して適切な支援を得る。また、歴史まちづくり法第11条に基づく「甲州市歴史的風致維持向上協議会」において、計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

教育委員会生涯学習課文化財担当が中心となって、関係各課との連絡調整を図り各事業の推進について検討した。令和4年度については歴史的風致維持向上協議会会議、並びに庁内ワーキンググループ会議は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	各事業の細部のすり合わせについて、今後も担当事業課との協議と連携を密に行い調整する。

状況を示す写真や資料等



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度
甲州市景観計画との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容

本市の景観計画は、市民生活や産業構造の変化に対する景観的課題の顕在化に対応し、本市の景観政策の充実と向上を図ることにより、本市固有の景観を守り、創り、育て、次世代に継承できる「果樹園と歴史・文化が織りなす魅力あふれる美しいまち」を実現することを目的として、市域全体を対象として策定しており、景観形成のため6つのゾーン区分を設定して、それぞれのゾーンにおける景観形成の方向性を定めている。また、景観形成重点地区に設定されている地区はまだないが、候補地の多くが甲州市の歴史的風致と重なり、あるいは関係性があるため、事業展開に併せ景観行政と連携し、歴史的風致の維持向上に努めると共に、屋外広告物の制限についても、甲州市独自の屋外広告物条例の設置に努めていく。

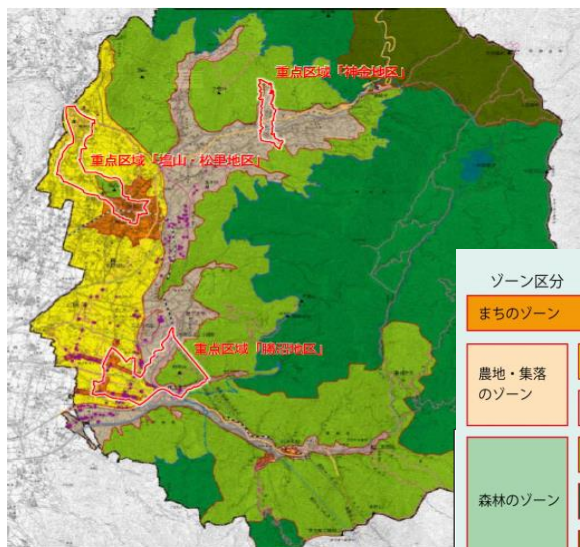
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

甲州市景観計画に基づく景観計画区域の全域を対象に、景観計画に基づく「届出対象行為」に該当する全ての建築・工作物について「甲州市色彩景観づくりの手引き」により色彩の制限を設けた。これにより事業者に対し景観への色彩基準や誘導基準による色の選び方や使い方などの啓発を行い、新築または建て替え物件についてはほぼ100%の理解を得ている。また色彩による景観形成の一環として、本市に数多く点在する果樹園に使用する防風ネット等の資材に対し「甲州市自然色ネット等資材購入補助金交付要綱」を定め、自然色の資材を購入する者に3万円を上限とした(補助率50%)補助事業を実施している。

(令和4年度実績: 13件 市補助金額 185,000円)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



■「甲州市景観計画」に掲げたゾーン区分

甲州市景観形成ゾーン区分

ゾーン区分	詳細区分	ゾーンの特徴
まちのゾーン		都市機能や住宅が集積している区域
農地・集落のゾーン	平地農地・集落ゾーン	盆地の平坦部に立地する農地とそこにある集落
	里山農地・集落ゾーン	山裾や小丘の傾斜地に立地する農地とそこにある集落
森林のゾーン	里山森林ゾーン	集落に近く市民のレクリエーションの場になる小丘や山林
	山岳森林ゾーン	集落から離れた自然豊かな山林
	自然公園ゾーン	自然公園法により規制のある区域

汎用的なブルーの防風ネット



補助対象となる自然色の防風ネット



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～ 令和8年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業費補助金		
計画に記載している内容	甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区の歴史的建造物の保存・活用を図るため、建造物等の買上げや修理・修景などを行い、歴史的景観の整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		令和4年度は、物件所有者から修理の要望があり、次年度で着手できるよう、国・県を通して、準備を進めた。また地元住民と蜜に連絡を取り合い、新たな修理等の要望が出しやすい環境づくりを心掛けている。	
状況を示す写真や資料等			

【R4年12月 文化庁調査官現地視察】



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
旧宮崎葡萄酒醸造所(宮光園)保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成21年度～ 令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 甲州市近代産業遺産「宮光園」について、これまで主屋、白蔵、離座敷などの修理を終えているが、東三番蔵など未修理の附属屋が残るため、保存修理を行い屋敷構えを整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宮光園の保存・修理事業については、主屋、白蔵、文庫蔵・道具蔵・離れ座敷、庭園等の事業が平成27年度までに完成しているが、東三番蔵などの未修理の附属屋が残っており、これらの修理工法や敷地の活用方法などの方向性について検討を行っている。令和4年度については、白蔵と主屋のトイレの修繕を行った。宮光園の整備後、数年が経過しているため、所々修繕を必要とする箇所が見受けられるようになった。来年度は漆喰壁の修繕を行う予定である。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画どおり進捗している
☒計画どおり進捗していない

敷地内建物の価値づけの見直しを行っており、今後の評価を検討している。評価が決まるまでは、現状維持に努めていく。

状況を示す写真や資料等

未修理の建物



【 第一醸造所葡萄酒貯蔵庫 】

【 東三番蔵解体跡 】



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
史跡勝沼氏館跡保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～ 令和8年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業費補助金(歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業)		
計画に記載している内容	史跡勝沼氏館跡について、整備完了後の経年劣化による修理必要箇所や、未発掘用地、未買収用地があるため、計画的に再整備を実施するほか、土地の公有化、発掘調査などを実施し整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度においては、国宝重要文化財等保存整備事業費補助金(歴史生き生き！史跡当総合活用整備事業)を活用しての事業実施は行わなかった。現状施設の維持、管理に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

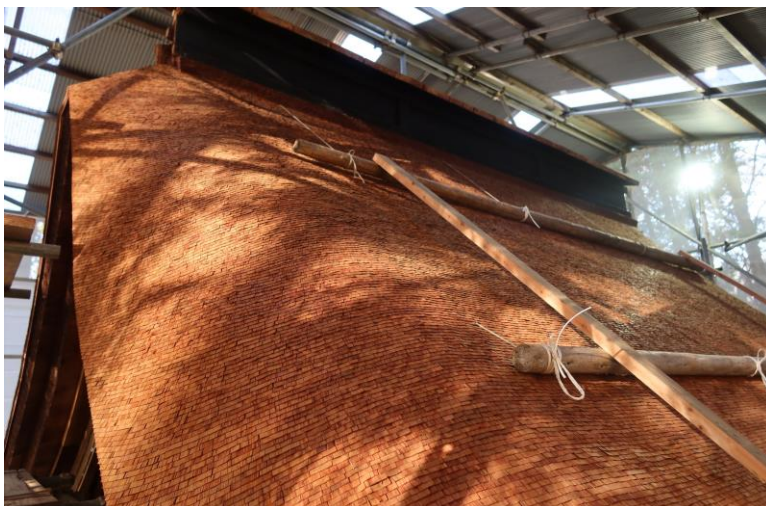
評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
歴史的風致形成建造物等整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～ 令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内に所在する歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物を指定し、適切な修理・修景を行うことで、公開施設やガイダンス施設として活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
県指定の文化財である神部神社の本殿の屋根を、県の補助金を利用して檜皮葺の葺き替えを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

【神部神社本殿】



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
農業基盤整備促進事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～ 令和4年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	狭い農作業道の整備を実施し、農業経営の安定や農作業の効率化を図るとともに、担い手への農地利用集積を促進し、生産組織の育成や強化を推進することで、生産量の向上及び安定を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
農業基盤促進事業の中で「農道下岩崎12号線改良工事」を行い、R2年度着手、R3年度に完成した。R4年度は実施事業はなし。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
甲州市農村ワーキングホリデー事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～ 令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 農業に関心のある人と、農繁期の手助けを必要としている農家を結びつける援農制度で、ブドウやモモ、スモモの栽培にかかる作業やコロガキづくりにかかる作業を、受入農家に寝泊りして行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・「農村ワーキングホリデー」事業として、モモ、スモモ、ブドウ、野菜等の農家の手助けを行い、参加者が自らも作業を通じて農業技術の向上を図った(令和元年度実績:受け入れ28人 1泊2日、期間:10月2日～2月27日)。令和2年度より受入休止。
 ・移動が制限されていたことからオンラインツアーを開催し、自宅にしながら桃、ぶどうやワインを堪能しながら、地域の魅力を発信した。ブドウ畑の石積みワークショップ、ブドウ畑の棚掛けワークショップを開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
於曽屋敷環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～ 令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 於曽屋敷は中世豪族の屋敷跡で、これを公有化し整備するとともに、周辺に駐車場やトイレなどの公益施設を配置し、公園として利活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

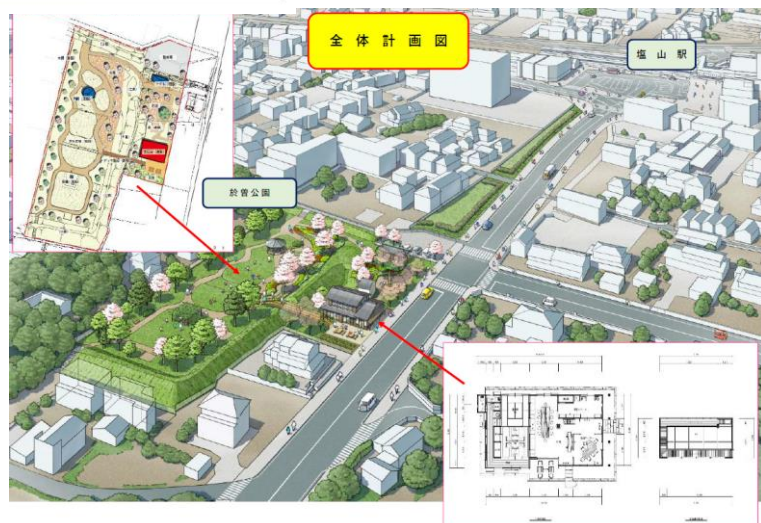
都市再生整備事業基本計画の中心に於曽屋敷と於曽公園が位置付けられ、本年度については周辺道路環境整備のための計画が作成された。於曽公園東西の道路を拡幅し、駅と公園周辺の利便性を向上させる。また、南北の道路を拡幅することでJR塩山駅北側にある文化財施設「旧高野家住宅(甘草屋敷)」とのアクセスを向上させ、ひと町に優しい道路整備を進めていく。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

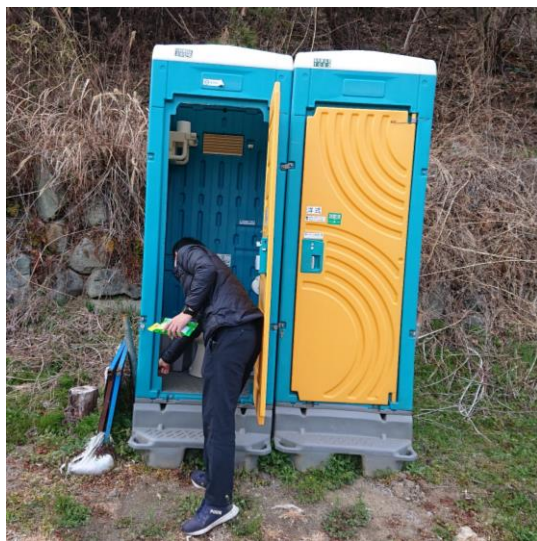
状況を示す写真や資料等



項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～ 令和3年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区について、駐車場やトイレなどの公益施設の整備を行い、地区内の環境を整える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		計画にあたり、地区内の土地所有者との交渉が難航した。今後は甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業と併せて、伝建地区内での住民との密なコミュニケーションを取りながら、住民要望を押さえつつ計画を実施していく。	
状況を示す写真や資料等			



【上条地区内 簡易トイレ設置また清掃】



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
市内伝統芸能・祭典継承事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～ 令和3年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内で行われる伝統芸能・祭典などについて、後世まで継承されるよう、主催者に資料や情報を提供するとともに、補助金を交付するなどの支援を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、市内5つの内2つの団体の活動の縮小、祭典の中止等を余儀なくされたが、補助金を交付して伝統芸能の継承を図るとともに、団体の維持運営状況の把握に努めながら支援を行った。一ノ瀬高橋の春駒については3年ぶりの開催となり、縮小した実施となったものの、多くの観客が集まり、伝統芸能の魅力を伝えた。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	担い手の高齢化等もあり、積極的に魅力ある伝統芸能の継承のため若者に啓発を行っていく。		
状況を示す写真や資料等			

甲州市の継承すべき伝統芸能・祭典



藤木道祖神祭太鼓乗り(甲州市指定 無形民俗文化財)



熊野神社御幸行列(甲州市指定 無形民俗文化財)



田野十二神楽(山梨県指定 無形民俗文化財)



一ノ瀬高橋の春駒(山梨県指定 無形民俗文化財)



柏尾の藤切祭(山梨県指定 無形民俗文化財)

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等

【小学生向け学習用教材】



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
歴史的風致散策・景観形成協働事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～ 令和3年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	甲州市の歴史的風致を深く理解してもらうため、「甲州市歴史的風致維持向上計画」をテキストに、各歴史的風致の散策会を定期的に開催するほか、散策で気付いた点について、市民などと協働して、農業用ネットの交換やガードレールの景観色塗装など、景観形成協働事業を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和4年度については、大和地域2回、勝沼地域1回の散策会を行い、市内外からの参加者に甲州市の歴史について伝えることができた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
【R4.6.11 知っているようで知らない？ 武田家の最期】 【R4.12.17 柏尾の戦い史跡めぐり～山梨と戊辰戦争～】 【R5.1.28 鉄道遺構散策～大和編】		

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
文化財の保存又は活用の現状と今後の方針		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載
している内容

本市には、令和5年3月時点で国指定文化財29件（うち、国宝3件）、山梨県指定文化財82件、甲州市指定文化財154件の、合計271件の有形・無形の文化財が所在している。

これらの指定文化財は、文化財保護法や山梨県文化財保護条例、甲州市文化財保護条例の他、関連法令に基づき、これまで保護のための措置が講じられてきており、今後も引き続き保護のための措置を講ずる。その一方で、指定されていない歴史的・文化的価値を有する未指定文化財も数多く所在し、本市の歴史的風致の維持向上を図るうえでも、これらの未指定文化財も保存・活用を図ることが重要である。

文化財は指定・登録の有無を問わず、本市の歴史と文化を理解するうえで必要不可欠なものであるため、調査を行い、価値が判明したもののについては市指定や国の登録制度の活用を検討するとともに、適切な保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備や防災対策等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に点在する文化財について、現状の調査・再点検等を行い、文化財価値の向上と保存、維持の方針を検討した。令和4年度は、市指定の文化財であり、歴史的風致形成建造物である「西藤木の水車」の修繕を行った。数年前の台風で被害を受けていたが、東日本鉄道文化財団の補助金を受け、元の姿に戻すことができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	本市には多くの有形・無形の文化財が所在しており、指定・登録件数は山梨県一である。これら文化財の保存・活用を図りながら展示できる施設や、文化財について総合的な情報発信拠点施設の検討が必要である。当該施設としては、重要文化財旧高野家住宅、甲州市近代産業遺産宮光園、旧田中銀行博物館、ぶどうの国文化館があり、それぞれの施設の特性を尊重しながら、活用や情報発信に努めているところである。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市が管理する文化財施設については、情報発信の手段として音楽、芸術、民芸等とのコラボレーションにより集客を行いつつ、外部の人々への情報発信や地元住民への文化財の価値の認識や保存に対する啓発を行った。また旧高野家住宅においては、敷地内の文庫蔵を利用した子ども図書館(塩山図書館分館)を開館しており、地域住民に親しみやすい文化財として活用をされている。 また、令和4年度は第21回塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり(旧高野家住宅)を開催した。また市管理の文化財施設以外でも、文化財関連イベントを開催し、より広く文化財の活用ができるよう図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 【旧高野家住宅(甘草屋敷)】 重要文化財 旧高野家住宅(甘草屋敷) 令和4年 2月11日～4月18日 第21回塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり 令和5年 2月25日 お寺で落語を楽しむ会 立正寺 // 宮光園スプリングコンサート  【塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり】  【宮光園雛飾り】  【R5.2.25 宮光園コンサート】  【R5.2.25 立正寺落語会】			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画			現在の状況
			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	重点区域「勝沼地区」では、「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群」について文化的景観の調査を行うとともに、山梨県及び山梨市・笛吹市と共同で取り組んでいる「峡東三市による日本農業遺産・世界農業遺産登録」により、ブドウ畑の景観を残すこととする。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群」をテーマに、山梨県内初の国の重要な文化的景観の選定を目指した取り組みを行っている。令和2年度、平成28年度から30年度までの調査結果をもとに、保存活用計画の検討を行い保存活用計画策定事業報告書(案)を作成した。令和4年度は文化庁からの指導を受けながら、修正を行ったが、まだ不十分な箇所があるため今後も修正を重ねていく。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【文化的景観・日本遺産に関するアンケート】

「勝沼地域の文化的・歴史的な景観とその受け継ぎ方に関する意識調査」へのご協力のお願い

甲州市教育委員会文化課
 山梨大学大学院社会科学研究科地域研究学

甲州市・甲州市教育委員会では、ブドウ栽培・ワイン醸造の歴史文化を反映した勝沼地域の文化的景観を保全し、魅力的なまちで未来に受け継ぐとともに、こうした景観の魅力を地域づくりや産業振興に活かしていくことを目的に実施しています。

今回はこうした勝沼らしい景観を未来に受け継ぐために、勝沼地域にお住まいの皆さんの愛着のある景観とその受け継ぎ方についてお聞きし、意識調査を実施します。いただきましたご意見を景観の受け継ぎ方や活かし方の検討に役立ててまいりますので、ご多忙中とは存じますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- ☐ 回答は5 ～ 10分程度で可能です。
- ☐ 調査へのご回答は世界主でなくとも構いません。また、複数の方にご回答いただける場合は、調査用紙(別紙)をコピーいただくか、下記インターネットサイトよりご回答ください。
- ☐ ご回答の提出は以下のいずれかの方法でお願いします。いずれの場合も内容は同一です。すので、ご都合に合わせてご回答ください。
- ①調査用紙(別紙)へのご記入
 →調査用紙にて郵便状にてご回答ください。
 (2021年12月19日締切)
- ②インターネットサイトにおける回答
 回答URL <https://forms.gle/7RLSTELBvBmjaC7>

回答期限:2021年12月19日



「文化財の景観」ってなに?

文化的景観とは、土地に人が暮らし、生活や仕事を営む中で、地域の自然や地形を巧みに利用したことにより、生み出されてきた景観のことをいいます。文化財保護法では、こうした景観を受け継ぐ土地を「文化的景観」とし、文化財の1つに位置づけています。

山間や海沿いの農村集村、町場の商家町など、身近にある何気ない景観の中で、さらに「地域の特色を示す代表的なもの」「ほかに例を見ない独特なもの」で国が選定したものが「重要な文化的景観」です。選定は、地産公共団体(郡県市町)からの申請に基づき、また、重要な文化的景観選定基準に照らして行われます。

お家で学ぼう！勝沼の文化的景観

平成28年度から平成30年度の3年間の学術調査の成果をまとめた、『勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観調査報告書(初版)』と、『文化的景観調査報告書』の内容をコンパクトにまとめた風景版2冊(子ども向け1冊・一般向け1冊)を甲州市ホームページにてデジタル公開しています！詳しくはこちらをご覧ください！

調査

①地域の特色をさがす(図面調査)
 土壁・建物の色合い、ふどう・ワイナの作り手のうらやまわりなど
 平成31年(2019)調査報告書を刊行しました！

②地域の魅力をもつて考える(計画づくり)

③市が国に申請

国「重要な文化的景観選定」は甲州市教育委員会文化課・勝沼支所・大和後所で配布しています。

甲州市「調査報告書掲載版」は甲州市教育委員会文化課・勝沼支所・大和後所で配布しています。

ワークショップ・イベント



勝沼地域の文化的・歴史的な景観とその受け継ぎ方に関する意識調査

I ご回答いただく方についてお尋ねします。

Q.1 お住まいの地区を選んでください。

1 勝沼 2 西 3 東 4 山

Q.2 ご回答される方の年齢について、お答えになるものを選んでください。

1 15歳未満 2 15歳～29歳 3 30歳～39歳 4 40歳～49歳
 5 50歳～59歳 6 60歳～69歳 7 70歳～79歳 8 80歳以上

Q.3 ご本人及び関係者の方、以下に該当(近縁)されている方はいませんか。(複数回答可)

1 ワイナリー経営者・関係者 2 ワイナリー経営者 3 ワイナリー関係者
 4 観光関係者・関係者 5 その他(具体的な記入あり)

II 勝沼地域の景観の魅力についてお尋ねします。

Q.4 以下のとおりの中で、勝沼地域の魅力を表現していると思われるものを3つ選んでください。

1 緑豊かな 2 伝統・文化が感じられる 3 自然が感じられる 4 景観が美しい
 5 歴史が感じられる 6 人懐っこい 7 静かな 8 緑豊かな
 9 景観が美しい 10 美しい 11 自然が美しい 12 静かな
 13 景観が美しい 14 美しい 15 自然が美しい 16 その他

Q.5 次に示す3枚の写真は勝沼地域の典型的な風景(イメージ)を表した写真です。そのうち最も好き(1)と最も好きでない(3)の順位を付けてください。

1 2 3

1 2 3

1 2 3

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
文化財の防災に関する具体的な計画			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	重点区域「神金地区」にある甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物の多くは木造であり、傾斜地を造成して宅地としていることから、地震や火災が発生すると倒壊や火災の延焼などにより、被害が保存地区の広い範囲に及ぶことが予想される。そのため、所有者や上条組、地元消防団などと協議を行い、自主防災組織を強化するとともに、令和4年度策定した防災計画に基づき、必要な防災施設の整備等を実施する。また、所有者等と協議して、個々の伝統的建造物に対して耐震補強を行うなどの取り組みを行う。さらに、歴史的景観に配慮しつつ防犯灯を整備し、防犯対策や美術工芸品等の有形文化財が盗難に遭わないよう、地区の意識啓発に努めていく。
-------------	---

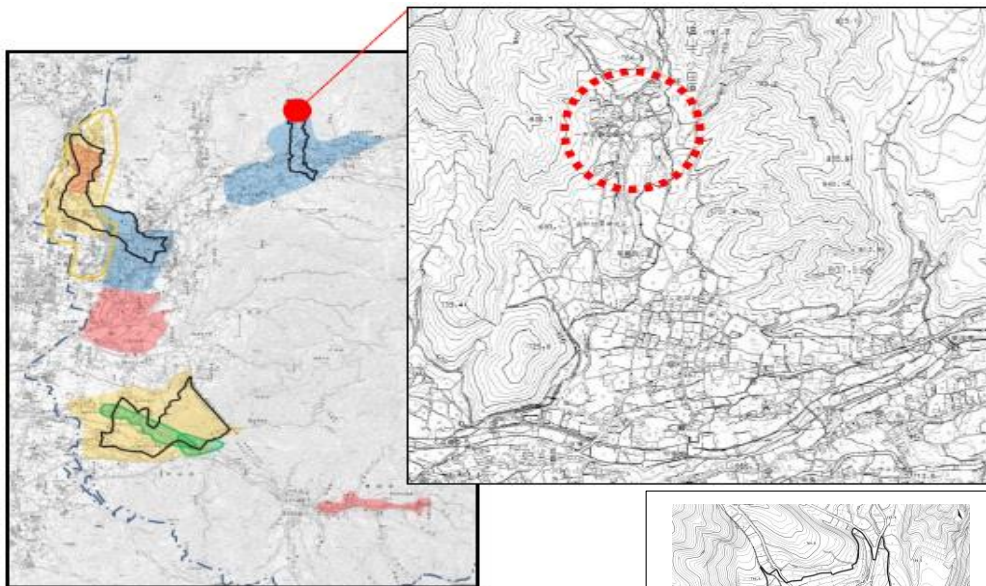
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度から29年度にわたり、防災計画策定に向けての現地調査を工学院大学に委託し実施し、調査結果の取りまとめ状況を甲州市伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催して報告、審議を行ってきた。令和4年度は、物件所有者から修理の要望があり、次年度で着手できるよう、国・県を通して、準備を進めた。

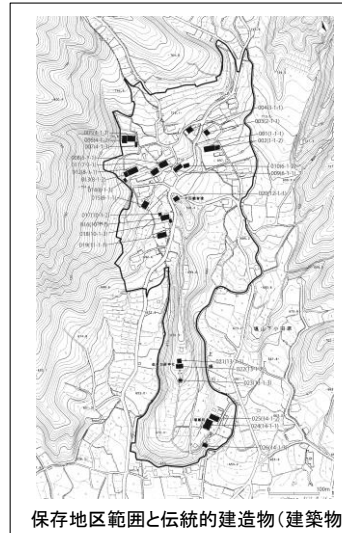
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	令和4年度は、協議を重ねてきた「防災計画」を策定した。今後は当該計画に基づき、住民の生命、身体及び財産を災害から保護し、上条地区固有の歴史的な景観を活かしたまちづくりを推進していく。

状況を示す写真や資料等

甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区 位置図



上条伝建地区は、標高が700mほどの山間の集落で、水道は集落で引いた小規模水道を使用しており、大きな河川もないため、防災用の水源確保が難しい。

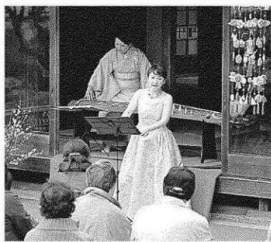


保存地区範囲と伝統的建造物(建築物)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和4年度
報道等タイトル		年月日	掲載紙等
ソプラノ歌手と琴奏者が曲披露		令和5年3月7日	山梨日日新聞(朝刊)
「ワイン140年史」動画に甲州市内の小学生撮影		令和5年3月26日	山梨日日新聞(朝刊)
甲州・春駒		令和5年1月9日	山梨日日新聞(朝刊)
中央本線廃線巡り トンネルなど見学		令和5年2月10日	山梨日日新聞(朝刊)
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
甲州市が歴史的風致維持向上計画の策定により、歴まち都市に認定されたことによって市民の歴史的風致を活かしたまちづくりへの関心が向上した。			
進捗状況 ※計画年度次の対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		今後の引き続き、歴史的風致理解を深める関心を高めるためメディアへの情報提供や独自の情報発信を推進する。	
状況を示す写真や資料等			

ソプラノ歌手と
琴奏者が曲披露
甲州・宮光園でコンサート
甲州市は、同市勝沼町下岩
崎の宮光園で、「宮光園 S p
ring（スプリング）コン
サート」を開いた。写真。
ソプラノ歌手の川口聖加さ
んと琴奏者の常磐琴音さん
が、「さくらさくら」や「う
れしいひなまつり」など春に
ちなんだ曲を披露。市内外か
ら訪れた約60人が楽しんだ。



コンサートは、4月18日、
で宮光園や甘草屋敷などで開
催している「ひな飾りと桃の
花まつり」の一環で、2月25
日に開いた。〈松本飛勇馬〉

7日、丹波山門に伝わる故事「お松引き」と甲州市の民謡宝能「春駒」が行われた。いずれも新型コロナウイルスの影響で中止が続き、開催3年ぶり。熱気にあふれた会場からは、今年1年の家内安否も無病息災、五穀豊穡を祈った。

丹波山・お松引き

正月行事 3年ぶり熱気



甲州市の甘藷園では、同 会場を移った。市の一ノ瀬高橋地区に伝わる民俗芸能で、県指定無形民俗文化財の「春駒」が披露され、和紙で飾り付けをした華やかな衣装を着た踊り手が、装を着た馬役の「駒」と、

子を残した一帯払いのツタムやアマン
一組となり、太鼓や笛、歌い出し
手の歌に合わせて踊った。
会場には多くの住民やアマ
チュアカラマンが訪れ、華
やかな舞を賞賞に取っ
た。田辺君は「開演でき
ば」と。伝統継承のた
にも毎年継続して披露
していると話した。

「多くのの人に楽しんでもら
らうと、同保存会は毎年1
月、甘藷園で春駒を披露し
ていた。」

▲

松本飛騨馬

3ふりに春
さるに「香
草」＝甲州、
甘藷園

スマホ動画

《松本飛騨馬》

「ワイン140年史」動画に
甲州市内の小学生撮影、文化財紹介



日本ワイン140年史を紹介する動画の一場面

撮影方法と構図、タフな端末の使い方を学んだが、22日、ワシントンD.C.に公使館内の構成文化財を総動員を動した。

動画では、祝詞や旧行宮光園、龍藏寺ヲ日本遺産の構成文化財。子どもたちがせりみ上げ、「ワシントン貯蔵しです」「光園はが開、涌じていて、津の歴史を学べる。なつてます」などという。2月上旬に牛トリー(牛久木)を訪問子収録している。

甲州・静岡両藩の子ども読書クラブ
カマカマの日本一、甲州市で盛興
牛久市の本渡屋、日本一甲子園で
史を記する劇を作った。子どもた
ちがタレント端役を使って構成化財
を撮影したり、動画に出演させて動
話をしたりして、26日は完成した動
画が一般公開され、図書館は広く開
呼びかけている。

（松本飛鷹）

本年度のムカゴ
は、市内のムカゴ3、4
人が参加し、市教委生
やワイエンが甲子園
の提案を受け、甲子
年がから動作作成に
できた。

9月には市教委提
結日本ボクサー44
して学習し、地元
テレビの記者から

きょう一般に公開

動画は37分で、26日午後2時から同図書館で一般向けに公開。図書館担当者「動画作りにこれまでに経験したこと

中央本線廃線巡り
トンネルなど見学
甲州・大和地区
甲州市教委は、同市大和地区にある中央本線の廃線を巡



るイベントを開いた。

委担当者らが講師を務めた。

参加者は市役所大和支所を
出発し、山間部にある
れんが造りのトンネル
などを見学した＝写
真。

イベントは「中央本
線開通120周年記念
鉄道遺構散策」大和編
と題し、1月28日
に開催。JR東日本の
協力で実施した。

〈松本飛勇馬〉

評価軸⑥-1
その他(効果等)

項目		評価対象年度	令和4年度
歴史的風致に対する認識向上と情報発信に関する課題			
計画に記載している内容	本市の維持向上すべき歴史的風致は、本市の特徴を遺憾なく発揮した固有の資源であり、これを維持向上するのは、歴史や文化、伝統を今後のまちづくりに活かそうとする市のアイデンティティの確立のためであると同時に、観光資源としてより多くの交流人口を増やす施策のためでもある。市民だけでなく、市の内外に広く発信し多くの見学者を招き入れることで、本市固有の歴史的風致が認識され、維持向上しようとする意識の高揚につながるものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
日本遺産「日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和 문화の結晶～」事業において、ZOOMを使用してオンラインセミナーを開催した。各専門家や行政職員、ワイナリーの経営者など、幅広い分野の方々から、日本ワインの歴史や文化・また甲州市の魅力や日本遺産の構成文化財についてお話をいただいた。またその内容を日本遺産協議会のYouTubeにて、公開することにより、当日参加できなかったまたは、もう一度聞きたい参加者に対して、広く情報発信を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	YouTubeやZOOMなど、動画配信サービスやWEB会議サービスを利用することにより、実際に甲州市を訪れていない方に対しても、甲州市の魅力を発信することができたと思う。今後も積極的に情報発信を続けていきたいと考えている。		
状況を示す写真や資料等			
  			